魔拳勇者企画書

バンタンゲームアカデミー ゲームプログラマー専攻2年制1年次

井野巧巳







基本情報

タイトル : 魔拳勇者(Evil Fist Hero)

• 制作者 : 井野巧巳(一人)

• 製作期間 :約1か月半

(2023年11月~2023年12月の約1か月間、

2024年3月上旬~中旬の約半月)

※(2023年4月~2023年6月に制作したものをリファクタリング)

• 仕様 : Dxライブラリ(C++)、その他講師と私の専用ライブラリ

ジャンル : 2Dジャンケンゲーム

こだわったポイント



1.バトルロジック

① スタート



② スライダーイベント ※



- ③ 自分の手を選択
- ※ 敵の出す手の確率を予測してくれるアイテム。 イベントスコアが良ければ良いほど予測の精度 が上がる。

<u>④ 勝ち・負け・あいこの判定</u>



⑤ プレイヤーと敵の<u>HP</u>判定



6) (2)へ戻る

(両者ともHPが 0 でない場合のみ)





2.素材の自作

タイトルロゴとステージマップの画像は無料の素材作成サイトで自作したものを使用

・タイトルロゴ

サイト名:ロゴ及び画像ジェネレーター

https://ja.cooltext.com/

魔拳勇者

・ステージマップ

サイト名:INKARNATE

https://inkarnate.com/



3.ストーリーやイベントの導入

ただの「ジャンケン」を「ゲーム」に変える。

ジャンケンするだけであればアナログで十分。

重要なのは「ジャンケン」を楽しむために必要な要素。



4. ボスの多様性

各ステージのボスはそれぞれ見た目やHPなどが異なる。

このボスを順番に倒していくことにより、

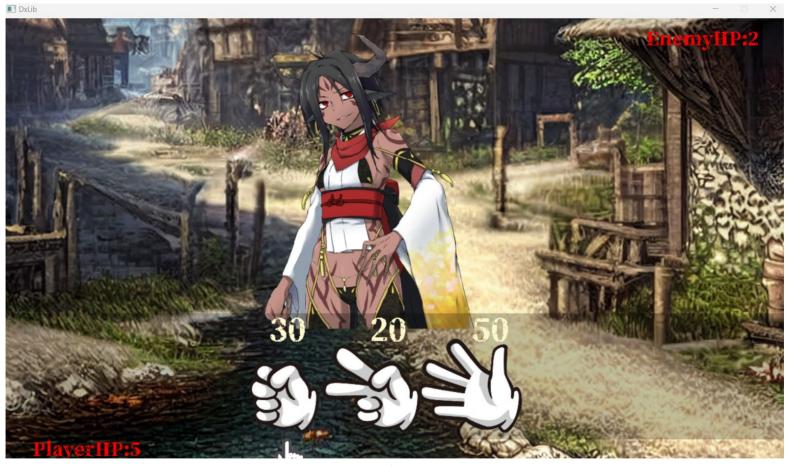
ユーザーはストーリーが進んでいる演出を楽しむことができる。



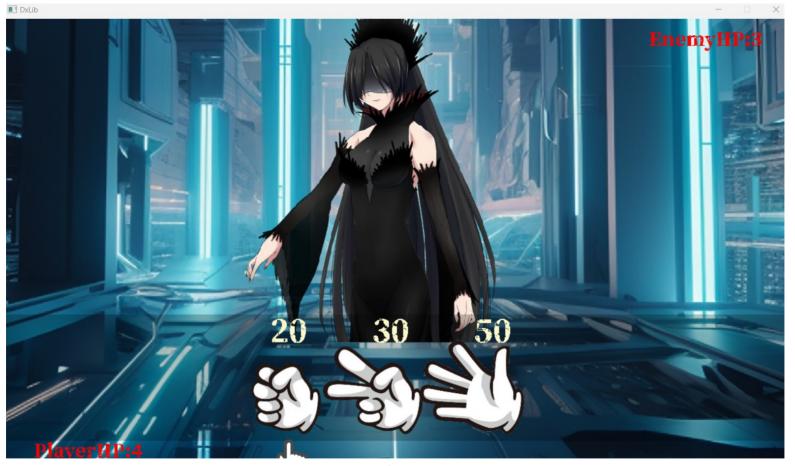


ステージ1ボス





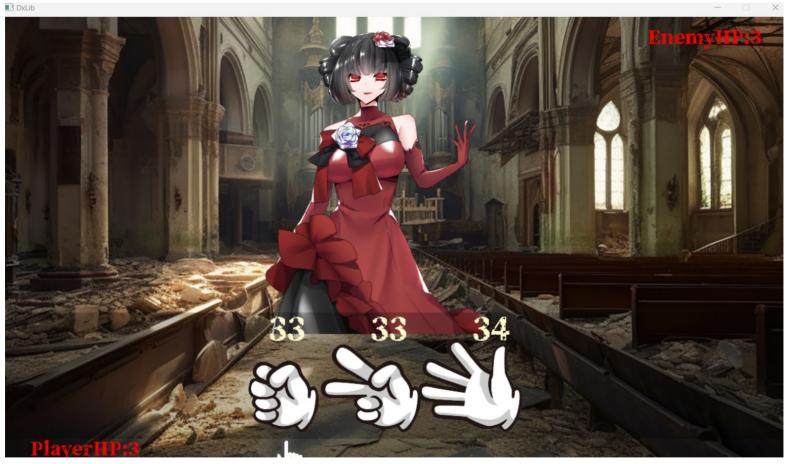
ステージ2ボス



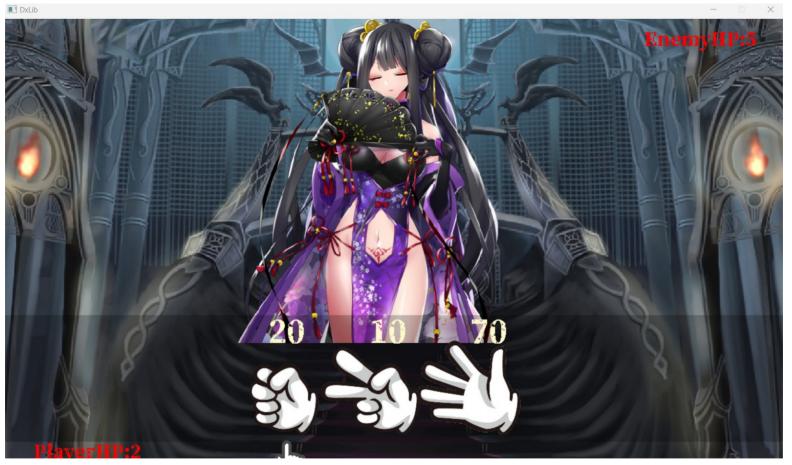
ステージ3ボス







ステージ4ボス

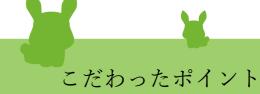


ステージ5ボス





ステージ6ボス

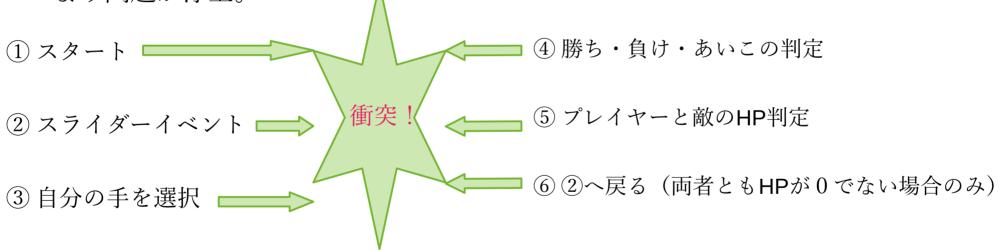


苦労した点



1. バトルロジックの制御

こだわったポイントで紹介したバトルロジックは全てエンターキーで制御。しかし、1度の入力で全てのプロセスが同時に実行されてしまう問題が浮上。 ▲



フラグ変数の活用、処理の省略や分割などによって対応



2.キャラクターのハイライトや 表情の割り当て

ゲーム序盤のプロローグ、およびステージ5のエピローグでは 話しているキャラクターへのハイライト、及び文脈に沿った表情 の変化を実装。



ストーリーの進行と矛盾が生じないよう緻密な調整が求められた



